夢と志【学校通信】

平成 25 年 9 月 12 日

第 54 号

西中の風

～『信頼と笑顔』毎日1,500の思いやりあふれる学校生活 ～

伊丹市立西中学校長
豊田　實

2020 年東京オリンピックを想う
～世界へ誇れる伝統文化の発信～

９月８日、日曜日、自宅に号外が配達されました。あらゆる報道で東京五輪決定が取り上げられ、テレビからも特別番組などが放送されて視聴する人々は期待と興奮で盛り上がっています。私自身も高揚感で満ちた社会の雰囲気を実感しています。

子どもたちも勢いのある時代を生きることになり、７年後は成人として暮らしています。次代を担う青年たちであり、きっと将来はオリンピックと関連づけて語られる世代となるでしょう。

開催国選出に際して、チームジャパンと呼ばれるオリンピック招致活動の成功をメディアは伝えています。開催都市を選ぶ国際オリンピック委員会総会（ブエノスアイレス）最終プレゼンテーションでの代表者たちのスピーチは、すばらしいものだったと脚光を浴びています。

我が国の魅力を世界に向けて発信する絶好の機会になりました。スピーチされた方たちにとっては、実に華やかな社会貢献となりました。これまで、日本人のアピール能力は高く評価されないことが多々ありましたが、若人も立派に語り国際人としての存在感を示すことができたのではないでしょうか。この活躍によって、多くの人の生き方に好影響を与えることとなります。

話がぐっと近づくことになりますが、正に本校の教育活動の目指していることに結びついています。発信力（表現力）を発揮すること、発信するには心構えや準備が必要です。説明するには知識を蓄えておく必要があります。話す人には、聴く人の心に響く真剣さが求められます。聴く人たちの表情を見る冷静さが大切です。学校での教育活動においても、教科学習において知的で思いやりあふれる論述や議論ができる人に生徒たちを育てたい、そんな思いです。

今、教室では先生からも、生徒からもオリンピックの話題に花が咲いていることでしょう・・・。

※ターゲットエイジ：競技の特殊性はあるが、概ね選手層は今の中学生から大学生がアスリートとして完成される頃2020年に最盛期を迎える若手選手をターゲットエイジに指定し育成・強化（１３年現在１６～２０歳）するプロジェクトが開始される。このように説明をみると、ぐっと身近な話題としてとらえることができる。中学生アスリートで秀でた才能を発揮している人は五輪出場も夢ではないかもしれない。

朝ご飯でスタミナを！
～炎天下練習期間だからこそ～

9月28日（土）体育大会へ向けて、特別時間割を編成して集中練習が行われています。熱中症予防のための準備、そして、毎日の朝食をしっかりと摂って体調を整えるようご協力をお願いします。